

経済学委員会（第23期・第1回）議事要旨

I. 日 時：平成26年10月3日（木）10：00～12：00

II. 場 所：日本学術会議5-A（1）会議室（5F）

III. 出席者：池尾、岩本、大塚、北村、西條、永瀬、矢野の各委員

計7名

（欠席）青木、杉原、深川、吉川の各委員

計4名

IV. 議 事

（1）委員長の選出

互選により、矢野会員が委員長に選出された。

（2）副部長、幹事の指名

矢野委員長から、青木会員を副委員長に、岩本会員と永瀬会員を幹事に指名したい旨が諮られ、了承された。

（3）分科会の世話人の決定

経済学委員会に属する5つの分科会の世話人について、話し合いの結果、以下の各委員に依頼することとした。世話人は分科会の構成員名簿を作成し、遅くとも11月の幹事会に諮ることとする。各分科会の委員長、副委員長及び幹事は、第1回会合で決定される。

IEA 分科会	西條委員
IEHA 分科会	杉原委員
人口変動と経済分科会	岩本委員
ワーク・ライフ・バランス研究分科会	永瀬委員
数量的経済・政策分析分科会	北村委員

なお、社会学委員会と合同の包摂的社会政策に関する多角的検討分科会について、池尾委員が社会学委員会との窓口を担当することとした。

（4）連携会員説明会の日程

平成26年10月発令の連携会員への説明会は、10月27日（月）10時～12時に開催され、矢野委員長が出席する予定である。分科会の世話人は、分科会についての説明用資料を作成して、事務局に提出するとともに矢野委員長に送ることとする。

（5）今期の活動について

- ・ 第一部内に経済学分野でもジェンダーに関する議論をしてほしいという希望があり、永瀬幹事が岩本幹事と北村委員の協力を得て、ワーク・ライフ・バランス研究分科会での活動とする、または新規の分科会を設置することを含めて、経済学委員会としての活動の在り方について検討することとした。
- ・ 大塚委員が青木委員と西條委員の協力を得て、日本経済の活性化に資する議論をす

る分科会設置の可能性について、検討することとした。

- 岩本幹事が、より長期的視野に立った社会保障財政の議論を促す提言を発出することについて、人口変動と経済分科会の活動とするか、または新規の分科会を設置することを含めて、その可能性を検討することとした。これに関連して、人口変動と経済分科会の今期の活動方針について、津谷典子連携会員に問い合わせることとした。
- 岩本幹事より、前期にとりまとめた報告「大学教育の分野別質保証のための教育課程編成上の参照基準 経済学分野」の反応について報告があり、経済学委員会では報告の反応についてフォローしていくこととした。
- 大塚委員より、地域研究委員会の国際地域開発研究分科会の活動を継承する分科会を、経済学委員会の分科会として設置する可能性があることが報告され、必要が生じた際に分科会を設置することが了承された。

以上